







※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(有限会社伊那シゲノ組)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (異などの取得証拠があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・差別しない雇用条件を設けている ・年齢に関係無く社内のコミュニケーションを図り風通しの良い環境を心掛けている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					16.1 16.2 16.7			
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・日々社員とのコミュニケーションを積極的に図り、社員の意見を尊重している ・ハラスメントの禁止を社員に徹底している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8						16.1			
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・労働基準法を遵守し、長時間労働の防止に取り組んでいる									8.5 8.8								
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本		【予定】	【予定】現時点では外国人労働者の在籍は無いが、将来雇用した場合、差別人権をしない様に徹底していく				4.4				8.7 8.8	10.2 10.3								
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・日々安全を考慮した作業前のミーティングや準備体操に取り組んでいる ・安全パトロールや安全大会(年1回)を実施により事故防止を心掛けている			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・コミュニケーションを取り、社員との会話を大切にしている			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・女性の活躍の機会を提供している					5.1 5.5			8.5	10.2 10.3								
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・OJTや社内講習会を実施している				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・労働関連法規制を順守している ・【予定】同一労働同一等の原則に沿った対応を目指す。					5.5			8.5	10.2 10.3								
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・年1回の健康診断、健康指導を行っている			3					8									
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・廃棄物の種類、量等を把握し廃棄物処理法に基づき適切な処理を実施している										11.6	12.4		14.1				
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・自社の電気、ガス、水道の使用状況を月次把握している							7.3					13					
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・天然木材住宅により、モルタル・コンクリート住宅に比べCO2排出量の削減に取り組んでいる ・展示住宅や事務所の照明をすべてLEDにしている							7.2 7.3			12.4	13.3						
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・現在社内での取り扱いはない。将来使う場合には法令等を遵守していく			3.9			6.3				11.6	12.4						

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (黒などの取得証証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・環境に優しい木材の使用、 および環境に配慮した住宅の提供をしている(断熱)						6.6							15					
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・建設リサイクル法によるゴミの分別を行っている。 ・廃材については薪として再利用している											12.5	14.1						
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			・利用状況の把握、節水等の取り組みを行っている						6.4 6.6												
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			・取得は無いが節電、節水、資源の無駄遣いの抑制等に取り組んでいる			3.9			6	7					12	13.3	14	15			
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			・長野県SDGs推進企業登録制度に参加し、取り組んでいく													12.6					
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			・太陽光発電の活用の提案に取り組んでいる ・CO2排出量の削減を配慮した住環境の提供							7.2							13				
公正な事業慣行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			・天然木材住宅を提供している ・お客様の造成で排出される間伐材の活用に取り組んでいる ・コピー用紙の裏紙利用・再生紙を活用している												12.2	13	14	15			
	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・社員に汚職・贈収賄の禁止等を周知している																16 16.5		
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・不正競争行為が無い様周知を徹底している																16		
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・知的財産権への侵害が無い様周知している								8.2 8.3	9									
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・個人情報保護の大切さを社員に周知している ・社員の個人情報・マイナンバーについては適切に管理している ・個人情報は施錠できるキャビネットに保管している																	16	
	【紛争鋳物】 ・紛争鋳物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			・現在取り扱っていない ・今後も取り扱わない方針																	16	
28	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			・協力会社と情報共有すると共に環境への悪影響・人権侵害の防止に取り組んでいる					5			8			10		12	13	14	15	16	17
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【非該当】		・パートナーシップ構築宣言を作成する必要性が無いため作成および公表していない			3						8	9	10							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
健康住宅、災害に強い住宅の提供	地震に強い住宅、省エネルギーにより快適に健康で住める住環境の提供																		
移動住宅による産業廃棄物の削減	移動可能長期住宅により取り壊しによる産業廃棄物の削減																		
天然木材住宅によりCO2排出量の削減	地球温暖化を防ぐ天然木材でCO2排出量を削減した健康住宅																		

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
 （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定